大会名称: **第25回東北大学バスケットボールリーグ**
兼全日本大学バスケットボール選手権大会 東北地区予選会

開催場所: **青森中央学院大学第2体育館**
試合区分: **No. 0831B3　　1次リーグ男子**
期　　日: **2024/8/31(金)**　　主審: **植田浩司**
開始時間: **14:00**　　副審: **堀内大**
副審: **齋藤紘希**

岩手	○ 87	20 -st1- 9 21 -2nd- 12 23 -3rd- 18 23 -4th- 27 -OT1- -OT2- -OT3-	● 66	青森中央
一部6位				一部2位

岩手大学

No.	S	選手名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS			AS
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT	
8	*	佐々木優輝	10	0	1	5	8	0	1	3	2	6	8	3
1	*	三浦悠音	22	1	1	6	14	7	11	2	8	5	13	0
10		戸田一茶	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
11		加茂蒸貴	5	1	2	1	2	0	0	2	1	1	2	0
12		佐藤義章	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
13	*	山口尚矢	10	0	4	5	8	0	0	0	1	3	4	3
15		伊藤結人	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17		中村壮良	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
18		金田竜弥	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
24	*	和野恭吾	2	0	2	1	2	0	0	1	0	3	3	1
25		和島太陽	2	0	0	1	1	0	0	0	2	2	4	0
30		柴田誠史	12	1	4	3	9	3	3	0	1	5	6	2
55		齊藤啓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	*	多田優次朗	21	3	8	5	9	2	3	1	2	1	3	1
00		佐藤尚	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
TEAM											2	1	3	
合　計			87	7	23	27	53	12	18	9	19	27	46	10
				30.4%		50.9%		66.7%						

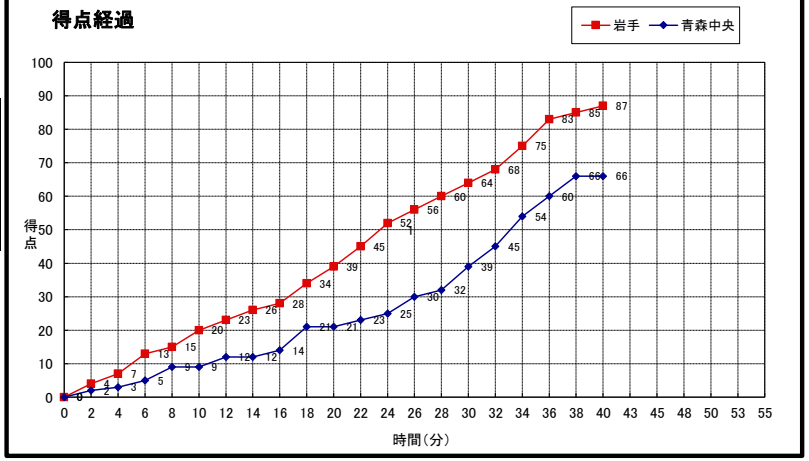
青森中央学院大学第2体育館

No.	S	選手名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS			AS
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT	
55		金沢那智	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
5	*	安孫子永遠	2	0	0	1	2	0	4	0	1	5	6	0
7		伊藤良我	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
11		木曽大輝	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
12		尾崎誠真	10	0	0	5	7	0	0	1	2	5	7	2
13		佐々木捷人	16	4	10	2	4	0	0	0	1	1	2	2
14	*	齋藤史博	0	0	4	0	0	0	0	1	1	1	2	2
17		阿部貴良	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
21	*	齋藤太智	14	0	0	6	12	2	4	3	2	1	3	0
22	*	小山晃穂	3	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	0
25		髙階翔太	0	0	2	0	3	0	0	0	0	1	1	1
26		虻川愛翔	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
40		野戸谷峻太朗	8	0	0	3	5	2	5	3	1	3	4	2
77	*	今川綾人	11	1	2	4	9	0	0	4	1	3	4	2
0		斉藤翼	2	0	1	1	1	0	0	4	0	0	0	0
TEAM											1	2	3	
合　計			66	6	20	22	45	4	13	17	11	22	33	11
				30.0%		48.9%		30.8%						

PTS: ポイント　M: 成功　A: 試投　%: シュート率
FG: フィールドゴール　3P: 3ポイントシュート　2P: 2ポイントシュート　FT: フリースロー
F: ファール　OR: オフェンスリバウンド　DR: ディフェンスリバウンド　TOT: トータルリバウンド
AS: アシスト　S: スターター　OT: 延長

東北大学バスケットボール連盟

得点経過



ゲームレポート

○第一クォーター
岩手大学8番のドライブからのシュートから始まる。岩手大学の1番と0番のピックアンドロールによって得点を重ね、勢いづいた。しかし、青森中央学院大学のオールコートでのDFから21番を起点に得点をとり、食らいつく。青森中央学院大学はシュートがなかなか決まらず、厳しいピリオドとなった。
○第二クォーター
岩手大学が速攻を仕掛け15番のスリーから始まる。青森中央学院大学の激しいDFによって岩手大学がおされた。岩手大学ファールを重ねる。青森中央学院大学は激しいDF青森中央学院大学の13番や77番のスリーポイントで得点を重ねるも、フリースローやブレイクで着実に得点を重ねる岩手大学が優位に進む。
○第三クォーター
青森中央学院大学のオールコートDFやダブルチームによって試合が始まる。しかし、青森中央学院大学はファールを重ねる。タイムアウト後、青森中央学院大学の激しいDFでOFに流れを持っていく。青森中央学院大学がブレイクを出すも、残り12秒岩手大学30番と25番の連携でシュートを決め、3ピリが終了した。
○第四クォーター
青森中央学院大学の激しいDFから速攻で流れを持ってくる。ここから両者、得点が停滞するも青森中央学院大学13番の連続スリーポイントで試合が動いた。岩手大学が0番を起点に、満遍なく得点を重ね優位に進める。両者譲らず得点を重ね、1ピリからリードを守り切った岩手大学が87対66で勝利を収めた。
○総評
両者激しいDFから速い展開のバスケットをしていた印象。青森中央学院大学のファールが重み、フリースローやリバウンドからのゴール下、スリーポイントとどの位置でのシュートも着実に決めた岩手大学がリードを保った。前半から堅守速攻をし続けた岩手大学が87対66で勝利となった。

東北大学バスケットボール連盟